



歌浦っ子・ベゴニア通信



トラクターの大行列で交通パニック！

文責 フラッセル日本人学校補習校
校長 佐藤 博

ベルギーと日本の違いはあげたらきりがなくたくさんあるのですが、その中の一つに「ストライキ」があります。ストライキというのは、働いている人たちがその雇い主（いわゆる社長さんかな）を相手にして、給料やその他の条件をもっと良くしてくれないと仕事をしない！というように、会社との交渉の手段として使われる方法です。最近の日本ではストライキ自体ほとんど見なくなりましたが、ここベルギーではいまだによく使われていて、時には国を挙げて一斉にストライキを行うこともあります。その日は事前に国民にも知らされ、鉄道や地下鉄なども結構止まってしまうので、場合によっては仕事にも行けない・・・ということもあるようです。そのように、今までのイメージでは鉄道会社や航空会社がストライキを起こし、鉄道がストップしたり、飛行機が飛ばなかったりしていましたが、今回はちょっと違った「農家によるストライキ」・・・国の農業政策に反対した農民の皆さんによるストライキで、スタートは隣の国フランスだったのですが、その方法が驚きでした。

トラクターで高速道路に侵入し、ゆっくり走りながら他の車が走れないようにするとともに、高速道路の途中に上の写真のようなバリケードを作って通行止めにして交通を完全にマヒさせる・・・というもの。こちらの高速道路は日本と違ってすべて無料で日本のように料金所があるわけでもないため、たとえトラクターであっても自由に通行することができ、このような方法が実現したというわけです。そのトラクターの集団ですが、実は学校の前の高速道路にもやってきたので、急いで学校を出て見に行きました。クラクションを鳴らしながら、また何か文字を書いた看板を前に付けて走っているトラクターもあってそれはなかなかの迫力でした。また写真からもわかるように、ここベルギーでもこのような光景は初めてだったらしく、高速道路の上にある場所からは多くの人が写真を撮っていました。

さてさて、このストライキの影響が出始めたのはその3日後くらいから・・・よく行くスーパーの野菜が置いてある棚が、右の写真のようにすっからかんになっているではないですか！普段はこの棚にジャガイモやニンジンなど、所狭しと並んでいるのですが、この日はほとんど残っていませんでした。（その3日後には元どりに戻っていましたがね） こうやってヨーロッパの人たちは、国や企業のやり方に何か不満があると、ストライキという手段で訴えることがよくあるようで、どちらかといえば文句を言うよりもぐっとこらえて我慢してしまおうという日本とは大きく違うようです。

日本の映画もこちらで大人気です

9月に「スラムダンク」を見てからこちらの映画にはまってしまい、その後、こちらの映画会員になってしまった関係で、時間があれば映画を見に行くことが多くなりました。まだ会員になって5カ月しかたっていないのですが、その間に日本映画だけでも5本も見ることができました。「スラムダンク」「少年とサギ」「パーフェクトデイズ」「モンスター」「ゴジラマイナスone」です。どれも結構人気があり、日本といえば「MANGA（マンガ）」のイメージが強いのですが、なかなか映画も負けていないなという印象です。特にこの中でも人気があったのが「少年とサギ」、右の写真を見たらわかると思いますが、日本では「君たちはどう生きるか」という映画名で上映されていた宮崎駿監督の映画です。ただ嬉しくて確認もせずに見にいてしまい、フランス語に吹き替えされたものを見てしまって大ショック！声はフランス語、字幕はオランダ語ともう訳わからん状態でした。ベルギーではほとんど吹き替えはないと聞いていたのですが、アニメ映画などは、子どもが見るので吹き替えをすることがあるとのこと。確認不足だったため、いろいろな場面で何を言っていたのかわからず大変でした。まあ数日後、きちんと日本語のものを見に行けたのでよかったです・・・ただ最近ではあえて英語の映画を見ながら、語学の勉強に励んでいます。ただいまだにほとんどわからん状態ですけどね・・・。



0テレ NEWS NNN
フランス・パリ近郊
29日

フランス 大渋滞などで混乱
農家ら道路封鎖 農業政策に反対

日本のニュース画像から・・・

農家らが首都へ続く高速道路を封鎖



空になってしまった
スーパーの野菜売り場

